

# 「未来への挑戦」

からだにやさしい、おいしい健康にこだわり続けて



ベストアメニティグループ  
代表 内田 弘氏

円の事務所、6人の社員、新車4台を買い、資本金1100万円は4か月で底をつき、自転車操業でした。社員はいても稼げないので、こういう会場に行くと消火器や靴の中敷き等を買って行商して稼ぎますが、私が動けなくなったら会社は倒産するし、嫁さんも子供も全てダメになると思いました。

## 「世界初『雑穀米』の誕生」

玄米を食べるとい健康教室もやっていたので、鹿児島島の農家に行くと、「キビを少し分けてください」と言ったら、「鳥の餌位にしか思われないうし、作っても売値は安い、戦時中に食べた貧しいものは買えないから売り物は作らない。これは我が家の健康のために作っている。あなたが食べる分なら分けてあげる。」と言われました。農家の方が家族の健康のために作るというように栄養価が高いんです。帰る車の中で『雑穀米』という名前を考えて、ブレンドをしようと思いました。キビ、粟、麦、米も相場は全て決まっています。ブレンドしたら相場はない。つまりプライスリーダーを持っているんです。最初に日本で作った雑穀米の値段は私が決めたんです。ただ決める前に農家さんと話をしました。「このキビ、トウモロコシ、粟いくら



雑穀米をブレンドしていたとき、「雑穀米が全国に広がるのが見えたんです」と語る内田代表。



だったら頑張つて作りますか？」と。それは農家の方も豊かになること、自給率を上げることになるからです。

## ベストアメニティグループ 代表 内田 弘氏

「雑穀米」を日本で初めて世に送り出し、雑穀米ブームの火付け役となる。その後は、有機栽培や無農薬、地産地消・食料自給率向上に取り組み、様々な事業を成功させる。主力商品「雑穀米」を中心とした食品製造メーカー。自然食レストラン「キャトルセゾン旬」「自然食惣菜」「ゆずり葉」・安全なペットフード「アニマル・ワン」みづまの駅、大牟田天然温泉「最高の湯」など多角的経営を展開。



雑穀米

鶏小屋よりお粗末な所で雑穀米を作っていたとき、全国に雑穀米が広がるのが本当に見えたんです。でも、パートのおばちゃんたちから「社長、こんな雑穀米が世の中に広まるはずないじゃないですか。」って、笑われてもな

んともないんです。「見といて、らん、世の中の人が雑穀米という名前を知らない人がいなくなるよ」と言っていました。コンサルタントの人達も絶対に売れないと言いました。デパートに行ったら「雑穀米」という名前が悪いんでもってこんでくれ」と言われ、生協に行ったら宗教家ですか？と言われたんです。(笑)そういう時代でした。

健康博覧会に「雑穀米」を出展し、午前中集客ゼロ。このままでは我が社の明日はないと思いました。サラリーマンとオーナーの違いは、どうやったら集客できるかを必死で考えるか考えないかなんです。コップに少しの塩と炊飯した雑穀米を入れて振るんです。そして人の手にポンと置いたら「熱っち、熱っち」と言いながら食べてくれます。そうすると見向きもしなかった人たちが興味を持ち人だかり。展示会に持っていった商品が翌日の午前中には全部なくなり、会社に電話がバンバン鳴り始めたんです。

最終日に憐れやずの矢頭亘社長「夫妻が来られて「あつ、面白そうだね。これからはこの時代が来るかもね。」と言ってくれました。実は矢頭亘男社長の実家は精米所だったんです。その言葉が嬉しかったです。袋の後ろを見て「福岡？じゃうち一回来てよ」と言って頂き、それがきっかけでお付き合いが始まり、通販会社最初のお取引となり、今でも矢頭亘男社長に感謝し、「私が歩ける間は直接担当します」と言っています。

日本に何百社という雑穀米を売っている会社がありますが、たどれば全部弊社のサンプルを取り寄せ、価格を見てそのサンプルから安い外国産を混ぜて安く売るとい一番簡単なやり方をするんです。それでも雑穀米が世に広がったこととはよいことだと思いません。

しかし、日本の農家さんの事や環境の事、人の健康の事を考えれば、外国産に比べ国産は管理がいいですし、農家の方も豊かになり、自給率向上にもなりま

す。日本人の作ったもので生活できるようにならないといけないと思うんです。外に出ることが多いものだから、人材育成については、上射場先生に「うちの会社の人と思うので、自分の社員を心から育てるという思いでやって頂けるのであれば、全てお任せします」と言ったのが20年前で、それからずっとお世話になっています。パートに入った人たちがSMIカンパニーを受講し、今は皆幹部になって活躍しています。

私は幹部より一般の社員と一緒に散歩したり、「ご飯を食べたりしながらコミュニケーションを取り、私の考え方を伝えていきます。現場で私が営業を見せなが

ら教育し、心構えの教育は上射場先生にお任せし、両面から人材育成をする事が大事だと思っています。



## 世に無いものを生み出すワクワク感

弊社は、食のビジネスをしています。世の中になかった「雑穀米」を広め、少しは健康になったと思います。二つ目は、『ナチュラルクック』です。平成32年に食塩表示が全て義務付けられ大手食品メーカーが困っています。「ナチュラルクック」を発明して10年位になります。3割塩砂糖を減らして美味しくなる優れものです。ナチュラルクックの時代が来たなと思います。



雑穀系発酵調味液 ナチュラルクック  
「味をつける」「調味料を引く」「素材を引き出す」調味料です。

私は、世に無いものを生み出すのが大好きです。最近、遊び学びビジネスを始めました。世の中になく3つ目は『フランペン グビレッジ』です。フランクなキャンプ村を作ってトレーラーハウスで過ごすというものです。



マリナフランクビレッジ草草 (イメージパース)



美味しいBBQ



ホテルの様な快適さ

この宿泊スタイルは日本初なんです。フランチャイズで九州に15か所作って会員さんはどこでも利用できるようになります。九州以外の北海道富良野からも要請がきています。キャンプ初心者でもBBQを愉しめ、冷暖房完備のトレーラーハウスなので暑さ寒さも関係なく、自然の恵みも体感できます。アウト・ドアが嫌いな女性にもとても好評なんです。キャンプが好きな人の層からそうじゃない人の層まで広まってきました。全国に広まったときに、また世の中になくのが誕生するそのプロセスにワクワク感あるんです。

投資ばかりするのでお金は全く貯まらないんです。(笑)個人でもじゃんじゃん使っています。23歳の時、成績優秀で会社から玉の湯旅館に招待され、感動しました。朝雪が降る中、食事の箸置きがアザミなんです。当時一泊23000円でした。それから美味しいものがあると聞くと1万円でも2万円でも出して食べに行く食欲に勉強していました。企業も同じだと思っんです。お金を貯めるという事は、もう後ろを向いているんです。守りに入っているんです。お金を貯めることを目的にしたときは、会社は伸びないと思っています。

今日、これからやりたいこと等、夢を色々語りました。実現できるかどうかわかりませんが、でも夢を描いて実現させるために皆さんの前で話します。これは社員の前でも同じです。やりたいことがいっぱいあるから社員も大変だと思っんです。夢を語るだけでは実現しませんから、実現するために何を考えるかを考えていきます。

今まで失敗も山ほどあります。自分がワクワクして楽しいと思うことは抑えることはできません。(笑)自分が楽しいと思うから皆さんにも伝えたくなんです。これからも楽しいと思うこと、どんな挑戦して新しいものを生み出していききたいと思っています。

講演内容を全部お伝えすることはできませんでしたが、「参加者から」話を聞いてワクワクしてきた。夢が膨らんだ。この人と一緒に仕事したいと思わせる魅力的な社長というお声でした。あらためてトップは夢を語りワクワクさせるこの大切さを感じました。